

町会報

えひめ

2010
2
Vol.11

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL 089-941-7598(代表)
FAX 089-945-1318



砥部町「七折梅まつり」(2月20日～3月10日)



Contents

愛媛県町村会第63回定期総会	2
町村会第6回全員連絡会	3
山村・林野・農業農村・水産業各研究会	3
愛媛県町村議会議長会第61回定期総会	4
議長会第2回臨時会	5
町議会事務局職員研修会	5
愛媛県市町振興協会評議員会・理事会	6
地方6団体の動き	7
一筆	8
2月の行事	8

早春の訪れを告げる「七折梅まつり」を2月20日(土)から3月10日まで開催します。
砥部町の七折地区は味と質の良さで知られる「七折小梅」の産地であり、イベント会場である梅園には七折小梅をはじめ約30種、1万6千本の梅の木が咲き誇ります。

第63回定期総会開く 新年度事業計画・予算決まる！

愛媛県町村会

愛媛県町村会第63回定期総会を、2月16日午後3時から、「県農業共済組合連合会会議室」において開催。出席者は、県下9町の町長並びに、副町長、総務課長、被表彰者のほか県知事、県議会議長、県町村議会議長会長の来賓の出席を得て開催された。総会はず、開会のことは、上村副会長（上島町長）から、続いて白石会長（松前町長）からあいさつがあった。



表彰を受ける中村砥部町長

次いで、来賓祝辞に入り、加戸知事、帽子県議会議長及び吉村県町村議会議長会会長から祝辞があったのち、来賓紹介と祝電披露があった。

つづいて、1月29日の全国町村会定期総会で表彰された優良町村の松前町及び中村砥部町長ほか自治功労者の方々に對する表彰伝達が行われた。（受賞者氏名は別掲のとおり）休憩の後、規約の定めにより白石会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

協議事項は次のとおり。
 (1) 報告第1号 平成21年本会会務報告
 (2) 認定第1号 平成20年度本会一般会計歳入歳出決算
 (3) 議案第1号 平成22年度事業計画

報告があり、異議なく認定。

清水監事（愛南町長）から監査報告あり、異議なく認定。

全国町村会会長表彰名簿

（本県関係／敬称略）

- ◎優良町村 (本県関係／敬称略) 伊予郡松前町
- ◎自治功労者 伊予郡砥部町長 中村 剛志
- 一般職員 越智郡上島町 児島 公尊
- 伊予郡松前町 中村 剛志
- 伊予郡砥部町長 中村 剛志
- 越智郡上島町 児島 公尊

愛媛県町村会 第63回定期総会開催要綱	
I 日時	平成22年2月16日(火) 午後3時00分開会
II 場所	愛媛県農業共済組合連合会 5階 第1会議室 松山市二番町四丁目4番地2 TEL：089-941-8135
III 出席者	1 県内全町長（賛助会員市長） 副町長（又は収入役）、総務課長等 2 来賓 県知事、県議会議長、全国町村会長 県町村議会議長会長
IV 総会順序	1 開会 2 会長あいさつ 3 来賓祝辞 （県知事、県議会議長、県町村議会議長会長） 4 表彰伝達 5 議事 (1)〔報告第1号〕平成21年本会会務報告 (2)〔認定第1号〕平成20年度本会一般会計歳入歳出決算 (3)〔議案第1号〕平成22年度事業計画 (4)〔議案第2号〕平成22年度本会会費の分賦方法 (5)〔議案第3号〕平成22年度本会一般会計予算 6 閉会

表彰の基準日は、平成22年1月1日	系統町村会	愛媛県町村会	表彰の基準日は、平成22年1月1日
上浮穴郡久万高原町	〃	〃	大野 幸栄
伊予郡松前町	〃	〃	中嶋 澄香
伊予郡砥部町	〃	〃	伊賀上 晃
喜多郡内子町	〃	〃	島田 恵介
〃	〃	〃	松田 行吉
〃	〃	〃	中塚 卓二
〃	〃	〃	田辺 美範
〃	〃	〃	増田 卓郎
〃	〃	〃	西松 伸一
〃	〃	〃	丸本 正和
〃	〃	〃	佐伯 直子
〃	〃	〃	清水 修徳
〃	〃	〃	玉井 梅代
〃	〃	〃	向井 政子
〃	〃	〃	堀本 増隆
〃	〃	〃	曾根岡 伸也
〃	〃	〃	富田 安一
〃	〃	〃	富永 安忠
〃	〃	〃	竹崎 玲子
〃	〃	〃	石崎 恒子
〃	〃	〃	岩見 勝義
〃	〃	〃	大塚 伸弥
〃	〃	〃	石井喜美子
〃	〃	〃	宇都宮喜美子
〃	〃	〃	井上 利彦
〃	〃	〃	井上 恵美
〃	〃	〃	富永 正司
〃	〃	〃	山本壽美子
〃	〃	〃	小野瀬博幸
〃	〃	〃	坂本明仁
〃	〃	〃	坂本明仁
〃	〃	〃	橋田浩美
〃	〃	〃	赤松鶴美
〃	〃	〃	赤松鶴美
〃	〃	〃	吉田修一
〃	〃	〃	宮下真照
〃	〃	〃	山田健一
〃	〃	〃	浅川東一
〃	〃	〃	浅川東一
〃	〃	〃	米花かおる
〃	〃	〃	多和田賀子
〃	〃	〃	寶田千賀子
〃	〃	〃	近尾博子
〃	〃	〃	谷口正二
〃	〃	〃	渡部明忠

自治協会・生協の決算・予算を協議

第6回全員連絡会・災害共済支部委員会

県町村会は、2月16日県農業共済組合連合会会議室において「平成21年度第6回全員連絡会・災害共済支部委員会」を開催した。

会議には、白石会長、上村副会長、清水監事、高野久万高原町長、中村砥部町長、稲本内子町長、山下伊方町長、阪本松野町長及び甲岡鬼北町長の全町長が出席。

- 1 開 会
- 2 あいさつ 白石会長
- 3 報 告
- 白石会長から全国町村会をめぐり最近の動向について、報告と説明があった。
- 4 協議
- (1) 平成20年度決算について



- (2) 平成22年度予算について
 - ① ① 全国自治協会愛媛県災害共済支部決算
 - 事務局から、資料に基づき決算説明があり、協議の結果、認定することに決定した。
 - ② ② 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部決算
 - 事務局から、資料に基づき決算説明、報告があった。
- (2) 平成22年度予算について
 - ① ① 全国自治協会愛媛県災害共済支部予算
 - 事務局から、資料に基づき予算説明があり、協議の結果、原案のとおり決定した。
 - ② ② 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部予算
 - 事務局から、資料に基づき予算説明があり、協議の結果、原案のとおり決定した。
 - (3) ③ 愛媛県町村会文書管理規程について
 - (4) ④ 愛媛県町村会情報公開規程について
 - (5) ⑤ 愛媛県町村会個人情報保護規程について
 - 事務局からそれぞれの規程について説明があり、協議の結果、原案のとおり制定することに決定した。
 - (6) ⑥ その他
 - 次回の全員連絡会は砥部町で開催することとし、細部については正副会長に一任された。

山振・林対・農業農村・水産の事業推進等研究会を開催

愛媛県市町各種事業総合協議会を組織する4協議会(支部)は、2月16日に県自治会館で事業推進等研究会を次のとおり開催した。

- 【山振】10時30分開会
 - 高野支部長(久万高原町長)のあいさつに始まり、次の事項について協議が行われ、いずれも原案のとおり決定された。(出席者17名)
 - (1) 事業報告
 - 平成20年度決算
 - 平成22年度事業方針(案)
 - 平成22年度市町会費の分賦方法(案)
 - 平成22年度予算(案)
 - (2) 役員選任 現役員を再選した。
- 【林対】11時20分開会
 - 清水会長(愛南町長)のあいさつに始まり、はじめに県林業政策課の三好技術課長補佐から「本県の森林・林業を取りまく情勢」について説明があった。
 - (1) 次の協議に入り、次の事項について協議が行われ、いずれも原案のとおり決定された。(出席者20名)
 - (2) 事業報告
 - 平成20年度決算
 - 平成22年度事業方針(案)
 - 平成22年度市町会費の分賦方法(案)
 - 平成22年度予算(案)
 - (3) 役員選任 現役員を再選した。

- 【農業農村】13時00分開会
 - 山下会長(伊方町長)のあいさつに
 - (1) 次の協議に入り、次の事項について協議が行われ、いずれも原案のとおり決定された。(出席者7名)
 - (2) 事業報告
 - 平成20年度決算
 - 平成22年度事業方針(案)
 - 平成22年度市町会費の分賦方法(案)
 - 平成22年度予算(案)
 - (3) 役員選任 現役員を再選した。

- (1) 事業報告
 - 平成20年度決算
 - 平成22年度事業方針(案)
 - 平成22年度市町会費の分賦方法(案)
 - 平成22年度予算(案)
- (2) 役員選任 現役員を再選した。
- (3) 事業報告
 - 平成20年度決算
 - 平成22年度事業方針(案)
 - 平成22年度市町会費の分賦方法(案)
 - 平成22年度予算(案)
- (4) 役員選任 現役員を再選した。



議長会第61回定期総会開催 22年度事業計画・予算決まる

愛媛県町村議会議長会第61回定期総会を、2月17日午後1時から、「にぎたつ会館」において開催した。出席者は、県下9町の議長・議会事務局長。

総会はず、開会のことばを伊賀上副会長（松前町議長）から、続いて吉村会長（愛南町議長）から開会のあいさつがあった後、全国町村議会議長会会長から表彰された内子町議会をはじめ自治功労者や職員選賞の受賞者の方々に対して表彰状の

伝達及び感謝状の贈呈等を行った。次いで、来賓祝辞に入り、高浜副知事（知事代理）、渡部県議会総務企画委員長（議長代理）及び白石町村会長から祝辞があった。

休憩の後、本会規約の定めにより吉村会長が議長席に着いて「議事」に入った。はじめに、会議録署名人に伊賀上松前町議長及び山崎鬼北町議長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

第61回定期総会次第

とき 平成22年2月17日(水) 13時00分
ところ にぎたつ会館 2階「楓の間」

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 全国町村議会議長会表彰伝達及び職員選賞表彰
4. 来賓祝辞
5. 会議録署名人の指名
6. 議事
 - (1) 報告第1号 会務報告
 - (2) 報告第2号 平成20年度愛媛県町村議会議員共済事業特別会計決算
 - (3) 報告第3号 平成22年度愛媛県町村議会議員共済事業特別会計予算
 - (4) 認定第1号 平成20年度本会一般会計決算
 - (5) 議案第1号 平成22年度愛媛県町村議会議長会会務運営方針及び事業計画
 - (6) 議案第2号 平成22年度愛媛県町村議会議長会会費の分賦方法
 - (7) 議案第3号 平成22年度本会一般会計予算
 - (8) 議案第4号 決議
7. 閉会のことば

決議

近年、町村をとりまく環境は著しい変化を遂げた。また、最近においても、地方行政をめぐる様々な議論が展開されており、今後においても紆余曲折が予想される。さらにデフレ宣言に見られるように我が国経済は縮小・停滞し、地域経済へも大きな影響を及ぼしている。

このような状況の中で、基礎自治体は豊かで活力ある地域社会づくりに向けて、なお一層、農山漁村の振興や超少子・高齢化への対策、さらに地域住民に直結した行政サービスの向上など積極的に展開することが求められている。

この時に当たりわれわれ議会人は、住民が主役であることをあらためて認識し、その果たすべき役割、使命に深く思いを致し、県下9か町議会が連携を一層密にするとともに、各町執行者とそれぞれが一体となって、真の地方の時代に相応しい自治の確立と発展、に最善を尽くすよう、決意を新たにして、下記事項の実現を期する。

記

- 1 議会権能の充実強化
- 1 地方税財源の確保
- 1 新過疎法の制定
- 1 農林水産業の振興
- 1 医師確保と地方の医療施設充実
- 1 高齢者対策の推進
- 1 環境保全対策の推進
- 1 各般にわたる生活環境の充実

以上、決議する。
平成22年2月17日

愛媛県町村議会議長会第61回定期総会

(1) 報告第1号



優良議会表彰を受ける山崎内子町議長

会務報告

一回了承
(2) 報告第2号
平成20年度愛媛県町村議会議員共済事業特別会計決算

事務局から資料により説明があったのちに菊池監事（伊方町議長）から監査報告があり、一回了承。

(3) 報告第3号
平成22年度愛媛県町村議会議員特別会計予算

事務局から資料により報告し、一回了承。

(4) 認定第1号
平成20年度本会

一般会計決算事務局から、資料により説明があったのちに菊池監事から監査報告があり、一回異議なく認定された。

(5) 議案第1号 平成22年度愛媛県町村議会議長会会務運営方針及び事業計画

(6) 議案第2号 平成22年度愛媛県町村議会議長会会費の分賦方法
(7) 議案第3号 平成22年度本会一般会計予算

以上の3議案を一括上程し、事務局から順次説明。一回異議なく、議決された。

(8) 議案第4号 決議

伊賀上副会長が「決議」(掲掲)を朗読、満場一致で原案を採択した。以上で議事を終了し、最後に「閉会のことば」を伊賀上副会長が述べ、閉会した。

全国町村議会議長会長表彰名簿

(本県関係/敬称略)

◎優良議会 喜多郡内子町議会

◎自治功労者 喜多郡内子町議長

◎議員27年以上在職者 池本 興治

◎越智郡上島町議員 池本 興治

◎議員15年以上在職者 山田 博文

◎喜多郡内子町議員 山田 博文

愛媛県町村議会議長会長表彰名簿

◎議会職員

◎職員選賞

北宇和郡松野町 元事務局局長 森田 位

◎表彰の基準日は平成21年12月31日現在である。

会長に吉村直城氏(愛南町議長)を選出

副会長 伊賀上明治氏(松前町議長)

愛媛県町村議会議長会は、2月17日「にぎたつ会館」において、「平成21年度第2回臨時会」を開催した。

会議には、吉村会長職務代理者副会長(愛南町議長、土居上高町議長、瀧野久万高原町議長、伊賀上松前町議長、土居砥部町議長、山崎内子町議長、菊池伊方町議長、稲田松野町議長及び山崎鬼北町議長の全議長が出席。会議は次のとおり進められた。

1 開 会

2 あいさつ 吉村副会長

3 【新議長紹介】土居砥部町議長 会議録署名人の指名

吉村副会長が議長となつて次のとおり指名した

伊賀上松前町議長

山崎鬼北町議長

4 報 告

(1) 行事関係について

(2) 会長の退任並びに会長職務代理者の就任について

(3) 議長の異動について

以上の三点について事務局から資料に基づき一括説明があり、一同了承。



会 長
吉村 直城 氏



副会長
伊賀上明治 氏

5 協 議

(1) 会長の補欠選挙について

事務局から、会長の退任に伴い補欠選挙を行うものであるとして、選出方法や規約運用内規について説明。

協議の結果、現行内規の見直しを決定し、選挙に入った。

選挙の結果、満場一致で吉村副会長の会長に選出。また副会長が欠けたため、その補欠選挙を行い、伊賀上松前町議長を選出した。

〈新正副会長〉

会 長 吉 村 直 城

(南宇和郡愛南町議長)

副会長 伊賀上 明 治

(伊予郡松前町議長)

なお、任期は平成22年2月17日から平成23年6月2日までの残任期間。

(2) その他
愛媛県市町総合事務組合議会議員及び愛媛県市町振興協会理事の選出について確認をした。



新議長紹介

2月5日の砥部町議会定例会において議長の選挙が行われ、土居英昭氏が選出された。

砥部町議会議長

土 居 英 昭 氏



議会事務局職員研修会を開催 議会運営の疑義について意見交換

平成21年度町議会事務局職員研修会が、2月3～4日県自治会館で開催され、各町議会事務局職員17人が出席した。

研修会は、まず西森局長があいさつを述べたのち、議長会と監査委員協議会の平成22年度事業計画案及び予算案について説明があり、質疑応答を行った。

次いで研修に入り、講師の全国町村議長会議事務局の川満参与の助言と講評を得ながら、各町から提出された16問について研修・意見交換を行った。

【各町提出問題】

- 1 一般質問の内容
- 2 常任委員会委員長の議案審査結果報告に係る質疑
- 3 傍聴券
- 4 常任委員会の記録の閲覧
- 5 請願・陳情の取り扱い
- 6 議決書の原本証明
- 7 可否同数による議長裁決権の行使
- 8 表決の方法
- 9 検閲・検査権の行使
- 10 事務局職員が本会議を欠席した場合の手続き
- 11 意見書の取り扱い
- 12 会議録調製用に録音したテープの取り扱い
- 13 議会行政調査(視察研修)
- 14 地方自治法第117条(議長及び議員の除斥)
- 15 費用弁償の支給状況
- 16 一般質問の取り扱い

平成22年度 事業計画・予算を決定

県市町振興協会 評議員会・理事会

財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、2月23日(火)午前10時30分から第27回評議員会を、また、第69回理事会を午後2時30分から「愛媛県自治会館」において開催した。

いて事務局から説明し、了承された。
第1号議案
財団法人愛媛県市町振興協会役員
の選任（補欠）について
○役員を選任
（平成22年2月23日～平成22年3月31日）

理事
吉村 直城

（愛媛県町村議会議長会
会長・愛南町議会議長）

監事
村山 卓

【第27回評議員会】
会議の本人出席は、北川・宮崎・
毎木・栗田・石川の各評議員（委任
状出席・4人）及び西森常務理事、
渡部事務局長等。

第2号議案

財団法人愛媛県市町振興協会役員
の選任について（後欄理事会参照）

第3号議案

平成22年度事業計画について

第4号議案

平成22年度基金等貸付計画につ
いて

第5号議案

平成22年度一般会計収支予算につ
いて

第6号議案

平成22年度基金特別会計収支予算
について

また、平成21年6月12日から平成
22年2月12日までの会務の概要につ

【第69回理事会】

会議の本人出席は、白石・佐々
木・井原・菊池・上村・吉村・西森
の各理事（委任状出席・1人）及び
渡部事務局長等。

白石理事長から招集あいさつの
後、議長には寄附行為第25条の規定
により、白石理事長が充たり、本理
事会の議事録署名人に井原理事及び
吉村理事の両名を指名の後、議事
に入り、次の議案を審議し、いずれも
原案のとおり承認及び了承した。

第7号議案

副理事長の互選について
○役員を選任・就任
（平成22年4月1日～平成24年3月31日）

理事長

白石 勝也

（愛媛県町村会長・松前町長）

副理事長

佐々木 龍

（愛媛県市長会会長・新居浜市長）

理事

井原 巧

（愛媛県市長会副会長・四国中央市長）

菊池 伸英

（愛媛県市議会議長会
会長・松山市議会議長）

上村 俊之

（愛媛県町村会副会長・上島町長）

吉村 直城

（愛媛県町村議会議長会
会長・愛南町議会議長）

長谷川 淳二

（愛媛県総務部長）

西森 弘導

（愛媛県町村会事務局長）

監事

村山 卓

（愛媛県市町振興課長）

神野 師算

（愛媛県市長会事務局長
新居浜市参与）

評議員

岡野 昇

（宇和島市副市長）

第6号議案

理事長の互選について

「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案」の早期成立について

日ごろから全国町村会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年3月末をもって失効する現行過疎法につきましては、この度各党のご努力によりまして、内容を拡充し、6年延長する「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案」が合意されました。

これも、ひとえに貴台のご理解、ご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

今回拡充が予定されている過疎債のソフト事業につきましては、地域の厳しい状況に直面しつつ、来年度の予算編成に苦慮する町村においても極めて期待が大きく、早急に具体的な内容が明らかにされることを強く望んでおります。

つきましては、「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案」を速やかに成立させていただきましますよう、お願いを申し上げます。

平成22年2月17日

全国町村会



山岡民主党国対委員長に要請

【地方6団体の動き】

全国町村会

過疎対策改正法案の早期成立を求め要請活動

全国町村会は2月17日、本年3月に失効する現行過疎法について、各党が合意している「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案」の早期成立を求め要請活動を行った。

要請活動は、魚津政務調査会・財務部会長（富山県会長）と望月政務調査会・財政部会委員（山梨県会長）が、与野党の関係国会議員に対して面談、要望事項の実現を訴えた。

全国町村議会議長会

議会事務局の共同設置についての意見

全国町村議会議長会は、2月25日「議会事務局の共同設置についての意見」を総務大臣に提出した。

議会事務局の共同設置についての意見

平成22年2月22日付けで地方自治法の改正に関し、地方自治法第263条の3第5項により情報提供があったが、改正内容のうち「議会事務局の共同設置」については、下記の理由により反対である。

記

1 議会事務局は、二元代表制の一翼である議会と一体となすものであり、個々に議会を置くということは、事務局もそれぞれの議会の組織の一部として存在し、独立して存在するものではない。

そもそも、自らの自治体の意思決定を行う議会を支える事務局を外部化し、共同で事務を行うこと自体、地方自治に反する考え方であり、到底受け入れられない。

選択肢を増やし、自由度を高めるためといっても、これまで議会事務局の共同設置に対する要望はなく、必要のない選択肢をつくる意味は全くない。

2 自治体議会の事務局は、異なる政権を有する議員一人ひとりと相対し、かつ、議会と執行部さらには住民との各種調整等に携わっている。

そのため、自治体の全体を視野において調整等を行う必要がある。これを、行政部門同様「効率化」の旗の下で共同設置にしようとするならば、外部化されるが故に、個々の自治体の事情、これまでの慣例、個々の議員の政権等を十分把握することができないままに議会運営に関わることとなり、途端に調整機能が低下し、混乱が生ずる可能性が高い。

また、議会の開催時期も、共同設置した自治体間で重なる場合が想定され、日程の調整が困難となるなど、議会の運営の効率化に効果があるものとは考えられない。

3 地域主権戦略の行程表案（原口プラン）では、地域主権戦略の大きな柱として、「地方自治基本法」の制定が予定されているが、その際、核となる地方議会をどのように位置づけるかは重要な課題である。

議会事務局のあり方も当然、その際に議論されることになると思われるが、住民の付託に応える議会として、その組織をどうするかは個々の自治体の判断で行うことであり、法律で国が関与すべきものではない。

「地方自治基本法」は、まさしく自治体の自由と責任を明確にするものでなくてはならず、そうした議論も尽くされていない状況の中で、事務局の共同設置を選考して法制化する必要性・緊急性は全くない。

平成22年2月25日

全国町村議会議長会

「北方領土返還要求 全国大会」を開催

同会では、かねてから総務省に対して行政機関等の共同設置について、「議会事務局の共同設置」に関し、地方自治法の改正は必要ない」との意見を表明しているにもかかわらず、今般、法改正の動きがあったことから、再度、同趣旨の意見を申し出たもの。意見全文は別掲のとおり。

地方6団体、内閣府、北方領土問題対策協会などで構成する北方領土返還要求全国大会実行委員会は、「北方領土の日」にあたる2月7日、東京・九段会館で「北方領土返還要求全国大会」を開催した。

この大会は、わが国固有の領土である北方領土が、不法に占拠され、歴史的な年を迎え、日露両国政府は、不退换の決意で交渉にあたり、必ずや領土問題を解決する。

戦後65年特別決議

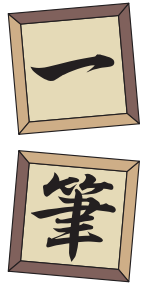
今年、北方領土が不法に占拠され65年。節目の年である。

歴史的な年を迎え、日露両国政府は、不退换の決意で交渉にあたり、必ずや領土問題を解決する。

1月29日、羅臼の漁船が、国後沖で銃撃を受け、これは、断じて許されない。

領土問題が解決されない限り、今後も事件は発生する。今年こそ、北方領土問題を解決することを私たちは強く求めたい。

平成22年北方領土返還要求全国大会実行委員会



借金財政と子供たち

極端しい借金財政の中、来年度の国の一般会計予算92兆2,900億円が、年度内成立のようである。

さて、長寿の極意は、①楽しく生きる②腹は八分目に③欲を出さない④気長に生きることの説がある。この生き方に有らざとも否応なしに日本社会は、超高齢化に入る。

方や現代社会には、他人には凶り知れないものがあるであろうが自身で命を絶つ約3万3千余人の自殺者をはじめ、凶悪な事件・自然災害など事故による無念の死、病魔による宿命の旅たちなど、寿命の人間模様は様々である。ただ、昨今の本来あつてはならない親の虐待による幼い子の死は、実に悲惨である。特に生物の本能である「食」を我が子から奪い断つ事は、万物の霊長の所業ではない。昔の日本の「躰け」は、厳しさの中にも愛情が裏に有り、なんとなく最終的には親子の信頼で収まっていた。現代の「躰け」と称するものと大きく異なる。

本来の個人保護法の意義が逆に採られては、能動できない受身のみの幼い子にとって不幸である。今日、関係機関も法的に民事介入できる方向にあるが、遂行は難しい現状であるようだ、そのことを昨今の事象が

現している。また分別が付かない幼子を、未熟で分別の無い親が養育にあたっているしか思えない実態...。関係機関・者が英断をもって、この時こそ「現代流の対策を実行する」べきではないか。未熟な大人を今更改めて指導、教育?など不可能。今はその環境にある幼子・子供たちの命を直接に守るしか手立てはない。

幸い我が国には、担当省を設置し、少子化を危惧する今日である。世の中、人口減を憂い増への一辺倒でなく、この世に生まれて来た子供たちも守らなければならぬ(員数のみならず)。自然の摂理にあつた少数であろうとも、過剰な物量に走らず皆が幸せ度を上げ、ほどほどに満足するような社会を創るべきこそ「超少子・高齢化社会」に合致する。

要は、親に阻害された子供たちを救い、日々の生活を維持する環境づくりが不可欠である。その早急な手段として、対応する相談者の増員確保、施設、ホームを増やさなければならぬ。このままでは不測の事態は続き、一過性の「情」だけで事が終わり根からの解決となるまい。子供たちに大借金返済を残してはならない厳しい財政状態である時、教育環境整備強化とともにその財源として「こども手当」の融通も一案と思うが如何...

(ト) 「間違つたやり方は、何時も大変理屈にあつてはいるように見えるものだ」 (ジョージ・ムーア 英国の小説家)

2月の会と催し

- ▽2日||日本赤十字社愛媛県支部評議員会
- ▽3日||平成22年度保証事業審議会、町議会議務局職員研修会、全国過疎地域自立促進連盟幹事会
- ▽4日||愛媛県献血者確保計画策定検討委員会、愛媛県人権協会の予算打合せ
- ▽5日||「第6回三浦環境賞」表彰式、全国簡易水道協議会第2回事務局長会議
- ▽8日||町村議会の制度・運営に関する検討委員会
- ▽9日||全国町村議会議長会定期総会、都道府県公長会ほか関連会議、平成21年度議長研修会、第2回えひめ移住交流促進協議会総会、JOIN(移住・交流推進機構)地方交流会in愛媛
- ▽10日||南海放送賞表彰式
- ▽12日||愛媛県市町各種事業総合協議会会計監査、愛媛県過疎地域自立促進協議会会計監査、愛媛県清掃事業協会正副会長会議
- ▽16日||山村振興事業推進等研究会、林野振興事業推進等研究会、農業農村振興事業推進等研究会、水産業振興対策事業推進等研究会、愛媛県町村会定期総会、第6回全員連絡会及び災害共済支部委員会、愛媛県防災会議
- ▽17日||愛媛県町村議会議長会定例会及び定期総会、愛媛県町村監査委員協議会定期総会
- ▽18日||えひめ農林漁業担い手育成公社理事会
- ▽19日||全国市町村農業農村振興対策協議会通常総会、第129回都市計画審議会、全国市町村林野振興対策協議会通常総会
- ▽22日||暴力追放推進センター評議員会及び理事会、愛媛県町村議会議長会正副会長会議及び事務引継
- ▽23日||愛媛県市町振興協会評議員会及び理事会、愛媛県人権協会会計監査
- ▽24日||全国市町村水産業振興対策協議会理事会
- ▽25日||人事試験に関する講習会
- ▽26日||都道府県市町村振興協会事務局長会議、愛媛県人権協会定期総会

